

【 教会讃美歌 149 】

1. 空も地をも あまねく統べ
愛と力 満つる神に
ものみな 感謝のほめうた捧げよ。

2. 神のまもり 豊かにうけ
幸あふるる み国なれば
み神の たまえる恵みをたたえよ。

3. 山も谷も 深き森も
みことば受け 照り輝き
み神を あがむるしらべはあふるる。

4. つくり主の み声聞けよ、
あがなわれし 罪人われ
み前に 誇りをうち捨てひれ伏す。

5. 力の神 来たります日
地にある者 声をあわせ
栄えある 救いのみわざをたたえよ。

アーメン

詩編 19・1

【 教会讃美歌 351 】

1. われをとらえたもう 神の深き愛よ
よわきわがいのちを 君に捧げなば
ゆたかにならん。

2. ひとりたどるみちを 照らす主の光よ
ちさきわがところに 光みちあふれ
かがやきません。

3. 雨になやむときも 虹はかなたにあり
神のちかいたもう きよき喜びの
あしたを待たん。

4. きみの十字架にぞ われはすがりまつる
ちりにかえる身にも つきぬいのちをば
あたえたまわん。

ローマ 15・13